

タンチョウも住めるまちづくり検討協議会 現地視察会

魅力あるまちづくりにむけて ～タンチョウが飛来する舞鶴遊水地～

- 開催日時：平成28年10月7日（金） 9：00～13：00
- 実施場所：舞鶴遊水地、道の駅マオイの丘公園、長沼町役場
- 参加者：約50名（協議会委員、企業関係者、町内農業者、長沼町、札幌開発建設部、日本生態系協会 等）



舞鶴遊水地の視察状況



道の駅マオイの丘公園の視察状況

現地視察の様子

参加者約50名で舞鶴遊水地、道の駅マオイの丘公園に加え、当日朝にタンチョウの飛来が確認された箇所を視察しました。

舞鶴遊水地や長沼町にある施設等の説明のほか、正富委員からタンチョウの生態、加藤委員から最近のタンチョウの飛来状況について説明がありました。

意見交換会

小磯委員による他地域の事例を交えた講話のあと、舞鶴遊水地やタンチョウを活かした地域づくりについてグループディスカッションを行いました。

- 拠点施設やフットパス整備など人を呼べる工夫が必要
- 環境教育、学習の場(教材)として活用したい
- 町内外のアーティストとの連携や写真コンテストなどを開催したい
- タンチョウをシンボルとした農産物ブランドづくりを進めたい
- 写真撮影、野鳥観察などのルール作りが必要
- タンチョウが好むような豊かな自然環境にしたい
- 取り組む仲間を増やし、活動の輪を広げたい 等

中村座長からは、「地域の人たちのいろいろなアイデアが出てきたことは貴重」、「住民の力による地域づくりを長沼町から発信していければいい」との総括がありました。



意見交換会の状況



小磯委員からの講話
『タンチョウとの共生による地域の
新たな経済価値創出に向けて』



参加者が5グループに分かれたグループディスカッションの様子